

豊島と世界をつなぐ! Welcome to Teshima プロジェクト

代表者 橋本 奈都子 (経済学部地域社会システム学科 3 年)

1. 目的と概要

豊島では瀬戸内国際芸術祭が開催され世界中から人々が訪れている。しかし、豊島の魅力は作品だけでなく、島の自然、文化、歴史、そして人も魅力なのだが、現在は言葉の壁によりその価値が残念ながら伝わっていない。豊島を訪れた外国人観光客にアート以外の魅力を知ってもらう機会を作りたい!そこで「豊島と世界をつなぐ! Welcome to Teshima プロジェクト」を立ち上げた。

このプロジェクトでは現地調査を行い、モデルコースを作る。そしてモデルコースでのツアーを主に香川大学にきている留学生を対象に実施し、自然、文化、歴史、人などが載ったモデルコースを英語版パンフレットにして豊島観光協会等に置き、プロジェクト終了後も利用できるようにする。

2. 実施期間 (実施日)

平成 28 年 7 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクトの成果

このプロジェクト実施によって外国人観光客に豊島のアート以外の魅力を伝えるツアープランの一つの形を見つけることができたと考えられる。また、アート以外の豊島の魅力を盛り込んだツアーで巡る場所を紹介するポストカード配布によって受け取った外国人観光客にアート以外の魅力を知ってもらう機会を作ることができたと考えられる。

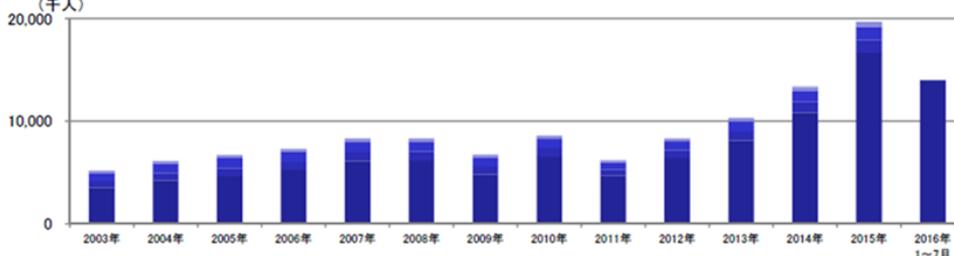
私たちは以下のスケジュールでプロジェクトを実施した。

- 7月 9日 現地調査
- 7月 16日 タイの留学生に向けてのツアー実施
- 8月 20日 白石島視察
- 9月 28日 現地調査
- 10月 10日 打ち合わせ 今後の方針について

- 11月 2日 パンフレット制作会社と打ち合わせ
- 11月10日～12日 現地調査
- 11月23日 現地調査
- 11月24日 ツアー、パンフレットについて打ち合わせ
- 12月 3日 現地調査
- 12月17日、18日 モデルツアー実施
 - 1月10日 パンフレットについて制作会社の方と打ち合わせ
 - 1月27日 パンフレット印刷
 - 2月20日 パンフレット配布

このプロジェクトを行うにあたって四国のインバウンドの現状について文献等で調査した。

図表1 訪日外国人数の推移
(千人)



出所：四国のインバウンド観光傾向（平成 28 年度）日本政策投資銀行

図表2 地域別訪日外国人数

(単位:千人、%)

	2011年		2012年		2013年		2014年		2015年	
	訪問者数	訪問率								
北海道	1,346	6.9	2,273	7.8	2,200	7.8	2,084	7.8	2,778	8.1
東北	474	2.2	785	2.6	646	2.2	587	2.1	662	1.7
関東	12,541	59.0	17,666	59.2	16,394	53.7	16,554	57.3	21,962	57.7
北陸信越	895	4.1	1,420	4.7	1,485	5.0	1,317	5.2	1,928	5.7
中部	2,633	12.8	3,856	13.9	3,294	12.1	4,286	14.7	4,861	14.9
近畿	7,007	33.8	8,968	32.6	9,357	33.3	10,088	35.7	14,619	40.0
中国	956	4.3	1,123	4.0	1,192	4.0	1,148	4.5	1,956	4.4
四国	225	1.0	224	0.8	251	1.0	310	1.2	388	1.1
九州	2,318	12.0	2,866	11.0	3,496	12.8	2,803	10.3	6,039	11.1
沖縄	646	3.1	901	3.1	1,102	3.9	1,178	4.7	2,158	6.1

注1) 上記地域は運輸局管轄ベース。なお、長野県は北陸信越に、福井県及び三重県は中部に含まれる。

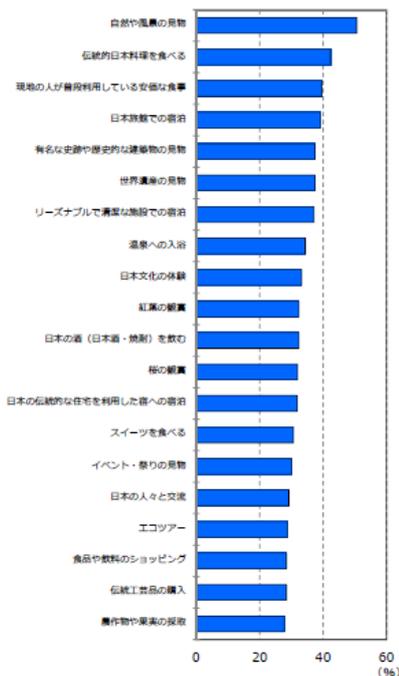
注2) 「訪問者数」は、当該地域の都道府県を訪問地と回答した数(複数回答)であり、「訪問率」は、回答数全体に対する割合。

出典) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」各年次報告書より作成。

出所：四国のインバウンド観光傾向（平成 28 年度）日本政策投資銀行

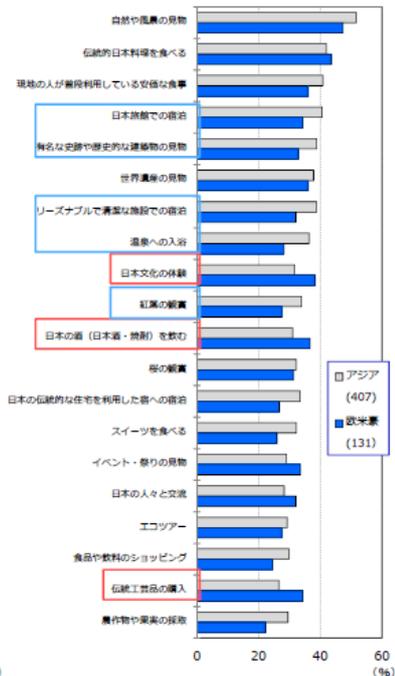
ここから全国の訪日外国人数は増加傾向であること、地域別訪日外国人数を見ると、四国は増加傾向ではあるものの日本のなかでは一番少ないことが分かった。そこから四国のインバウンド事業は遅れており、今後の訪日外国人観光客の増加に対応できる対策がとて重要となっているということが分かった。

図表19 四国訪問希望者が四国へ期待すること(全体)



注1) 選択数54項目のうち、回答の多い上位20位を抽出。
注2) 回答はあてはまるもの全て。

図表20 四国訪問希望者が四国へ期待すること(エリア別)



出所：四国のインバウンド観光傾向（平成28年度）日本政策投資銀行

ここから四国訪問希望者が四国へ期待することは、「自然や風景の見物」「伝統的・日本の料理を食べる」「現地の人が普段利用している安価な料理」が上位を占めていることが分かった。また、日本人々との交流、日本の文化体験も期待されているということも分かった。

インバウンド グリーン・ツーリズムの取組事例 〔福島県天栄村〕

○ 平成21年9月に天栄村の行政、商工会、観光協会、農業者団体、旅館組合などが、子どもの農山漁村交流プロジェクトの開始を契機に「天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会」を設立し、受入れのワンストップ化。受入れ体制の整備、情報発信による誘客を促進させ、年間600人程度の子どもの受入れ、地域全体の活性化を図る。

○ 子どもの受入れ実績や整備された体制、豊富なプログラムなどが評価され、平成24年にJICE(日本国際協力センター)を通じて、米国、カンボジア、マレーシア、タイなどから学生を受入れ。その後も外務省事業の一環として、年間150人程度を受け入れ。

地域の特徴	活動内容	活動の効果
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成24年度にJICEからの打診で、米国、カンボジア、マレーシア、タイなどから約730人の学生を受入れ。 ○ 福島県でなければプログラム化し、宿泊施設や体験インストラクターに外国人対応の勉強会、緊急時対応の確立など、受入れに向け協議会が中心となって取り組む。 ○ 事前に勉強会で、多様な食文化、宗教による食事制限やアレルギー、生活習慣や慣習などを学び、受入れ体制の均一化、意識レベルの同一化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームステイで受入家族ごとの様々な体験プログラムを実施。 ○ 食物禁忌について認識の徹底。ハラール肉やチリソース、カレー粉など、各国の調味料を手配し、滞在先に配布。また、トイレの使い方や案内表示の看板を配布。 ○ 震災学習プログラムも確立し、海外からの受入時には必ず1項目を組み込む。収穫した野菜を使って自国の自慢料理を地域の方々と一緒に作って食べるというプログラムや米・食味分析鑑定コンクール国際大会で最高賞の金賞の「天栄米」の米袋デザインを考えてもらう一風変わったプログラムも実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外からの青少年の受入れにより、口コミによる一般外国人旅行者、今後増大する訪日外国人旅行者を受け入れる体制が確立。 ○ 外国人受入数 H24 H25 H26 H27 729人 88人 148人 45人 ※ 外務省キズナ強化プロジェクト事業、JENESIS2.0事業による受入。H27は10月時点。

地域の食、特産品など

天栄米、天栄ヤーコン、天栄長ネギ



震災の実情や支援活動を考える



おばあちゃんと一緒に作る



伝統文化を体験する



ホームステイで日本にふれる

出所：農林水産省 インバウンド事例集

- ・ 他県が行っているインバウンド事業についての事例を見ていくと、どの県でも
 - ・ その土地でしかできないこと
 - ・ その地域の特産品を使った体験
 - ・ その地域の人々との交流
- を取り入れた事業を行っていることが分かった。

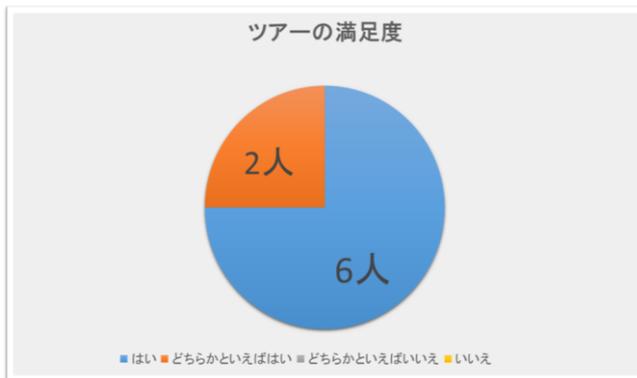
そして現地調査を経て、7月16日にチェンマイ大学の留学生対象にツアーを実施した。

● ツアー内容①

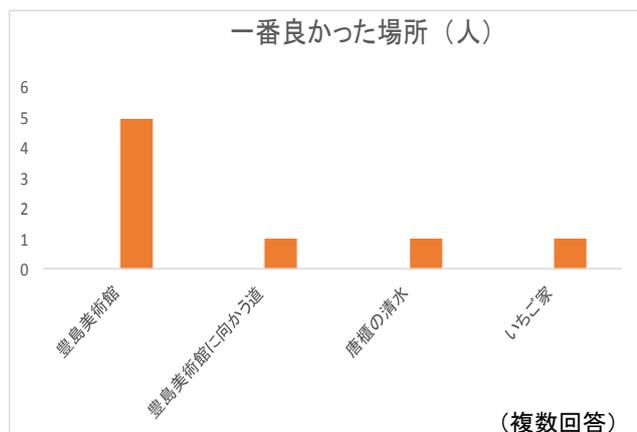
- 9:07 高松港
- 9:57 家浦港着
レンタサイクルを借りて移動
- 10:30 中村集落見学
- 11:00 空の粒子、唐櫃の清水の見学
- 12:00 島キッチンにて昼食
- 13:00 豊島美術館到着
- 14:30 いちご家でスイーツを堪能
- 15:10 家浦港発
- 16:00 高松港着



● ツアー後のアンケート結果①



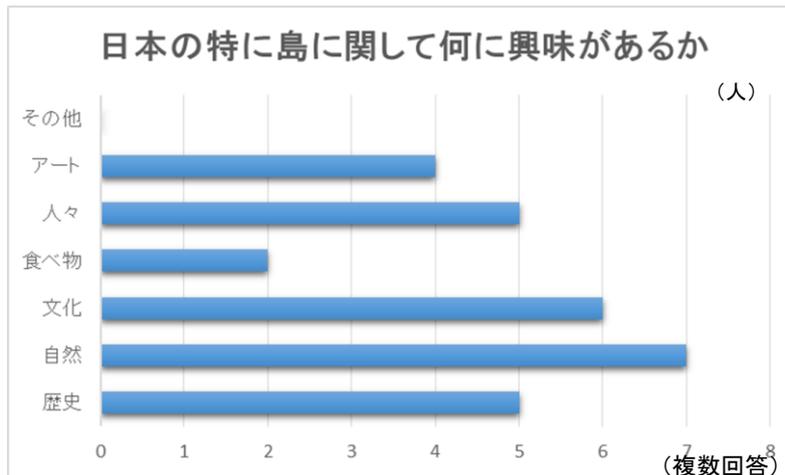
ツアーに参加した留学生全員が「はい」か「どちらかといえばはい」と回答した。そこからツアー自体は留学生にとって満足できるものであったと分かった。



その場所を選んだ理由

- ・ 豊島美術館
リラックスできたから。
とても素晴らしい美術館だったから。
- ・ 豊島美術館に向かう道
とても美しく、リラックスできたから。
- ・ 唐櫃の清水
とても穏やかな場所だった。
- ・ いちご家
今日はとてもあつかったから。
色んなアイスがあり、とても良かった。

豊島美術館が一番良かったと感じていた参加者が多かった。そこからこのプロジェクトで伝えたいと思っていたアート以外の魅力をうまく伝えられなかったという反省点が浮かび上がってきた。



この回答として多い順に自然、文化、歴史、人々が挙げられた。そこからこのプロジェクトの目的と外国人の興味が合致しており、このプロジェクトの重要性を再認識できた。

- 白石島調査、現地調査

その後、最終的なツアープランを考えるためにインバウンドに成功している白石島への調査や数回の現地調査を行った。白石島調査では、現地の方にインタビューをしたり島内を巡ったりした。そのなかで、「島時間」「島の自然の美しさ」「島ならではの何もないという魅力」を求めて外国人は白石島を訪れるということが分かった。現地調査では 地域住民にインタビューを実施したり、豊島の色々な場所を訪れたりした。そのなかで大きいスーパーマーケットもコンビニもない、ほしいものがすぐ手に入らない島という閉ざされた環境のなかで地域住民が知恵を絞って作り上げてきた豊島住民の生活がとても魅力的であると感じ、地域住民との交流を多く取り入れ、豊島での生活を存分に感じられるツアープランを完成させた。



(白石島視察の様子)



(農民福音学校での様子)



(インタビューの際、地域住民の方から豊島の食材を使ったシフォンケーキを頂いた。)



(民泊をされている方々へインタビューした際の様子) (豊島に移住されてきた方にインタビューした時の様子)

そして12月17日、18日に実際に香川大学の留学生7名を対象にツアーを実施した。

● ツアー内容②

1日目

- 9:30 高松港発 (往復 2,530 円)
- 10:20 家浦港着
- 10:30 レンタサイクルを借りて出発 (1,500 円)
- 11:00 農民福音学校にて、地域の食材を使ったピザ作り体験 (1,500 円)
- 13:00 ピザ作り体験終了
- 14:00 心臓音のアーカイブ (510 円)
- 15:00 横尾館 (唐櫃浜から甲生を回り、横尾館へ) (510 円)
- 16:00 レンタサイクルのところで荷物を受け取って山根さん宅へ
- 17:00 民宿やまねにて美味しいごはんを楽しむ。(2,000 円)
料理を作ってくださった豊島住民の方との交流、豊島の現代アートの感想を語り合う。
- 19:00 車で壇山へ向かう。
鳥獣ウォッチング
星空や夜景を楽しむ (温かい飲み物の提供)
- 20:00 山根さん宅へ戻り、就寝

民泊 宿泊費 3,500 円 朝食 500 円

2日目

- 7:00 起床
朝食の手伝い (卵収穫、野菜収穫体験)
- 8:00 朝食
- 9:30 山根さん宅出発 (移動は自転車 1,500 円)
- 10:00 豊島美術館 (1,540 円)
- 12:00 豊島キッチン (1,500 円)
- 15:10 家浦港発
- 16:00 高松港着

費用: 17,090 円

<ツアー実施中に気が付いたこと>

- ・最初に実施したピザ作り体験を留学生はとても楽しんでいました。ピザは外国人も食べる習慣があり嫌いな人が少ないため、良い。
- ・民泊体験では実際に日本の住居に宿泊できるということで大変喜ばれた。
- ・日本食は好き嫌いがはっきりしやすい。魚の骨が苦手という人が多かった。
- ・2日目は朝食を食べてすぐ昼食であったため「お腹いっぱいではない。」という声が多く挙がった。
- ・いちご家のスイーツは、豊島のいちごが大変おいしかったことや店主がとてもフレンドリーで中国語でいちご家について話して下さったことなどで大変喜ばれた。
- ・留学生は地域住民に自国のことを聞かれるのがとても嬉しそうで、詳しく話してくれた。



(農民福音学校での集合写真)



(ピザ作り体験をしている様子)



(移動途中の様子)



(民宿での夕食の様子)



(民泊の様子)



(いちご家の様子)

● ツアー後のアンケート結果②

(属性)

年齢	性別	国籍
25歳	男性	台湾
27歳	男性	ドイツ
21歳	男性	台湾
23歳	女性	ベトナム
24歳	女性	インドネシア
23歳	女性	タイ
22歳	女性	中国
		計7名

(豊島について)

豊島を以前から知っていたか。	
はい	3
いいえ	4

はいと答えた人は豊島をどうやって知ったか。 (複数回答)	
テレビ	0
ガイドブック	1
雑誌	0
他の人から	3
インターネット	2
豊島のホームページ	0

<はいと答えた人はどんなイメージを持っていたか。>

- ・ 空気、水もいいし、自然風景も美しいし人も優しい。
- ・ 名前だけ知っていて他は何も知らなかった。どう過ごしたらいいかも分からなかった。
- ・ 美しい島、食べ物もおいしいところ。

<いいえと答えた人は家浦港に着いた時豊島についてどう思ったか。>

- ・ 寒かった。
- ・ きれいな青空と緑を見て気持ちが良くなった。
- ・ 長い間島やビーチを訪れていなかったのが幸せに感じわくわくした。
- ・ ほとんど人がいないこと、家も少ないことから平和な場所だと思った。
- ・ とても静か。景色がとても美しい。

(800人くらいしか人がいないこと、この島はたくさんの木があり、海に囲まれているので空気がとてもきれいだから)

<今豊島についてどう思いますか。>

・とても静かなのでストレスを発散させるのにとってもいい場所。豊島の持続可能な経済のために人々は滞在する必要がある。

・静かで美しい島。人々もフレンドリーである。

・とても良い美しい島。人々はとてもフレンドリーで優しい。壇山から海を臨む景色は素晴らしかった。（ほかの人から素晴らしいと聞いていた豊島に来ることができて幸せ）

・豊島はキャンプをするのによい場所だ。

（その理由：ここには美味しい新鮮な食べ物があり、良い人々がいる。そして天気がいいから。）

・緑もたくさん残っているし、住民も親切であった。またみかんもおいしかった。

・私は再び豊島に来たい。

（その理由：景色が美しく、人々が素晴らしいから。）

・豊島ツアーはとても興味深い。

（その理由：豊島の食、美しい景色、人々との交流、友達との面白い時間を楽しむことができたから。）

これらの結果から

・豊島についての認知度は比較的低いこと。

・豊島の情報を他の人から得る人が一番多いこと。

・行く前や着いてすぐの豊島の印象は自然、景色に関するものが多いがツアーを終えた後は豊島の人々に関するものが多いこと。

ということが読み取れた。

（ツアー内容について）

自転車で移動するのは楽しかったか。	
はい	5
どちらかといえばはい	2
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

・健康にいいから。

・ゆっくり自転車を漕いでいくのは楽しいから。

・自転車に乗りながら美しい風景を見るのは素晴らしかったから。

・電動自転車だったのでしんどくなかったから。それに加えて自転車で巡るのは美しい自然を見るのに良い方法だと思ったから。

・電動自転車のおかげで坂でもしんどくなかったから。

・たくさん坂があり、少し登るのはしんどく難しかったから。

・豊島の風景を感じることができたから。

ピザ作り体験は楽しかったか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・自分でピザを作るのは楽しく、味もさらに美味しく感じたから。
- ・ピザを作るのは楽しく、美味しかったから。
- ・自分で作ったピザを食べることができたから。
- ・とても美味しく、作るのは楽しかったから。
- ・友達と作って一緒に食べるのが好きだから。
- ・ピザ作りは楽しい。みんなで一緒に美味しいピザを作って達成感を得たから。

心臓音のアーカイブは楽しかったか。	
はい	5
どちらかといえばはい	1
どちらかといえばいいえ	1
いいえ	0

その理由

- ・人が生きているのを感じることができるから。
- ・活力を感じることができたから。
- ・初めての体験、新しいことを学ぶことができたから。
- ・心臓音を録音する意味を理解できたから。
- ・アイデアはとてもいい。心臓の音を録音することで永遠に他人の心の中で生き続けられるのは面白い。
- ・興味深いあまり見るものがなかったから。しかしビーチの景色は素晴らしかった。
- ・これは好きではないから。

横尾館は楽しかったか。	
はい	3
どちらかといえばはい	4
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・ちょっと不気味で怖い雰囲気とその空間が好きだから。作品も深い意味があって面白い。
- ・これが2回目の訪問で1回目のとき感動したから。
- ・たくさんの絵には意味があるから。

- ・面白いアートで、展示の仕方もすごいと思ったから。
- ・美しかったが、いくつかの作品を理解するのが難しかったから。
- ・アート作品に意味の説明がなく、アートの意味を理解するのが難しかったから。
- ・作品は素晴らしいが意味を理解するのが難しかったから。

民泊は楽しかったか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・料理も美味しかったし部屋も良かったし、おばあちゃんはとても親切で優しくかったから。
- ・人々がフレンドリーだったから。
- ・料理が美味しかったし、快適に過ごせたから。
- ・伝統的な日本の家に宿泊するのは初めてで、素晴らしい体験だったから。おばあちゃんはとてもフレンドリーで朝食と一緒に準備したのが楽しかった。
- ・設備が素晴らしく、おばあちゃんはとても優しくかったから。
- ・民泊は最近とても人気がある。値段も安いし料理も美味しいし親切な主人に出会えてとても楽しかったから。

ディナーは楽しかったか。	
はい	6
どちらかといえばはい	1
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・美味しかったから。豪華な晩御飯はとても食べるのが楽しみ！日本食は日本の文化を教えてくれる。
- ・とても美味しかったが女性には量が多かった。
- ・皆と一緒に食べたディナーはとても楽しかった。料理はとても美味しかった。
- ・その家は居心地のよい場所でした。
- ・新鮮な刺身が美味しかった。
- ・とても美味しかったから。
- ・新鮮な刺身が美味しかったしほかの日本料理もすべて美味しかったから。
- ・どちらかといえばはいの理由は魚の骨が多かったから。

夜の壇山は楽しかったか。	
はい	6
どちらかといえばはい	1
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・最も高い場所からきれいな景色が見られた。イノシシを初めて見た。珍しい体験だった。
- ・美しい高松の景色や星が見られた。
- ・一番高いところから他の島や県を見ることができたから。
- ・すべて詳しく説明してくれて楽しかった。景色は素晴らしかった。
- ・景色はとても素晴らしかった。壇山のような高いところに立った体験は初めてだった。
- ・星がきれいだったから。豊島についてもっと理解できたから。
- ・とても暗くてあまり見えなかったから。

朝食を作って食べる体験は楽しかったか。	
はい	5
どちらかといえばはい	2
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・生卵をごはんにかけて食べるのは初めてだった。とても美味しかった。
- ・皆と朝食を作るのは楽しい。朝食がさらに美味しく感じた。
- ・生卵がとても新鮮だった。
- ・生卵がとても美味しく、自然的だった。
- ・伝統的な日本の朝食が好き。健康的な朝食を体験できた。
- ・自分で作るのも楽しかったし、伝統的な日本料理も美味しかったから。

豊島美術館は楽しかったですか。	
はい	3
どちらかといえばはい	4
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・水、風、日光を楽しんだ。自然の音を聞いた。
- ・この美術館は独特で景色は美しかったから。
- ・生きている水精霊が見えるのは素敵だったから。
- ・リラックスしながら長い間滞在できたから。
- ・とても静かで平和だったから。

- ・アートのことをよく分からないのだが、この場所で水が流れるのを見るだけにしてはチケットが高すぎる。
- ・写真を撮るには良い場所だが、見る場所は少ない。

島キッチン楽しかったですか。	
はい	4
どちらかといえばはい	3
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・料理はとても美味しいし、レストランが特徴的な日本のスタイルであった。
- ・美味しかったから。
- ・スズキという魚が美味しかった。
- ・その魚がとても美味しかったから。
- ・スープが美味しかったから。
- ・レストランの雰囲気よかったから。
- ・味が優しすぎたから。

いちご家は楽しかったですか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・大好きです！店主もかわいい！美味しい！
- ・豊島のいちごのスイーツはとても美味しい。
- ・いちごも美味しかったし、店長も愛想が良かった。特に店長が中国語を話せるのは親近感を感じました。
- ・そのデザートは美味しかったし店長は良かった。
- ・スイーツといちごが大好き！だからいちご家は完璧な場所であった。クレープはとても美味しかった。そして店主と会話できてよかった。
- ・美味しかった。

総合的にこのツアーは楽しかったか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・初めての体験ができたから。
- ・興味深い、素敵な楽しい場所にたくさん訪れることができて幸せだった。加えて新しいとてもフレンドリーな人々に会えたことはとても良かった。天気も良かった。
- ・とても楽しかった。誘ってくれてありがとう。
- ・とても楽しかった。また機会があれば行きたいです。
- ・この旅行で色々学ぶことができたし楽しめた。
- ・とても楽しい！みんな優しい！スケジュールは適正です。
- ・皆と過ごす時間の中でたくさん楽しい体験ができた。また、健康的で美味しいご飯も食べた。また、暑くも寒くもなく天気も良かった。

ツアーの希望価格	
10,000 円以下	1
10,000 円～15,000 円	5
15,000 円～20,000 円	1
20,000 円以上	0

その理由

- ・豊島美術館に自分は行かないので。（10,000 円以下）学生にはお金がないので。
- ・12,000 円くらいが妥当。
- ・もう少し高くても良い。（10,000 円～15,000 円）
- ・このツアーにはこれくらいの価値があると思う。（15,000 円～20,000 円）

これらの結果から

- ・このツアーは参加者全員から満足してもらえることができたこと。
- ・ピザ作り体験、民泊、いちご家といった体験を通して豊島の住民との交流ができるものに特に参加者は満足したということ。
- ・アート、特に豊島美術館についての満足度が低く、アートよりも豊島の自然などを楽しめる体験の方が満足度が高かったこと。
- ・ツアー希望価格は 10,000 円～15,000 円が最も多かったこと。

が読み取れる。

（豊島の自然、文化、歴史人への満足度）

豊島の自然に満足しましたか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・とても静かで、自転車で巡りながら見ることができたから。

- ・自然や景色を違うところから見るのはとても素晴らしかった。
- ・美しかった。ここにはゴミが全くない。
- ・自然はとても素晴らしかった。
- ・新鮮な空気、フルーツ、野菜を楽しめたから。

豊島の景色に満足しましたか。	
はい	6
どちらかといえばはい	1
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・海岸や海が素晴らしかったから。
- ・豊島の景色、特に海の景色は素晴らしかったから。
- ・景色はとても楽しめるものだった。山の頂上からの青い海、空の景色はとても美しかった。
- ・景色は素晴らしかった。
- ・人々が住んでいる場所で私が最も好きなのはゴミ捨て場が伝統的なスタイルで存在していて、たくさんの人々が食べ物を収穫しているところが見られたところ。
- ・美しかった。ゴミが見当たらなかった。
- ・景色が美しかったから。

豊島の人々に満足しましたか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・とても優しい人々だったから。
- ・全員優しくて素敵な人々だったから。
- ・たとえ日本人でも外国人と仲良く話せていたから。
- ・人々はとてもフレンドリーで優しかった。そしてほとんどの人々は自分たち学生の国について興味を持っていた。
- ・オレンジをくれた人もいた。

豊島の食べ物に満足しましたか。	
はい	5
どちらかといえばはい	2
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・美味しかったから。
- ・食べ物は全て日本の伝統的な料理でとても楽しかったし、美味しかった。
- ・美味しかったけどいくつかの野菜は好みに合わなかった。
- ・インドネシア人は変わった味が好きだから優しい味は苦手だった。

豊島の宿泊施設に満足しましたか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・初めての体験だったから。
- ・朝食を作るのが楽しかったから。
- ・暖かくてきれいで広かったから。
- ・滞在中快適に過ごせたから。
- ・安全で暖かかった。友達と一緒に寝られて幸せだった。

日本文化の体験に満足しましたか。	
はい	7
どちらかといえばはい	0
どちらかといえばいいえ	0
いいえ	0

その理由

- ・このツアーでさらに文化について知ることができ、役に立った。
- ・豊島についてやどうやって人々が住んでいるのか理解できたから。
- ・たくさんの日本文化、特に食の文化について知ることができたから。このツアーは他の国の文化を勉強するのに適していたから。
- ・伝統的な食に満足した。
- ・伝統的な家、食べ物、人々との交流はもっと日本文化を経験する良い方法。とても楽しかった。
- ・日本を旅行するといつも日本文化の体験に満足するから今回も同じく満足した。

もう一度豊島に来たいか。	
はい	7
いいえ	0

その理由

- ・豊島美術館にもっと長く滞在したいため。

- ・他の場所を訪れてみたいため。
- ・次の瀬戸内国際芸術祭で違うものを見るため。
- ・このツアーでお世話になった地域の人々に会うため。
- ・休みたいと思ったときに来たい。
- ・私は豊島で日本文化に関する価値のある経験ができた。そして次はより深く勉強したい。
- ・豊島でまたリラックスしたいため。

これらの結果から

- ・このプロジェクトで伝えたかった豊島の自然、文化、人、歴史といった魅力、そして文献調査した際、外国人観光客が四国へ期待することとして挙げていた項目について参加者に満足してもらえたこと。
 - ・このツアーによって参加者に豊島を好きになってもらい、また来たいと思ってもらえることができたこと。
- が読み取れる。

● パンフレットについて

「豊島の住民の生活」をテーマに、私たちが企画したツアーで巡る場所を載せたポストカードを制作した。

パンフレットよりも人々に手に取ってもらいやすいという理由で当初のパンフレット制作からポストカード制作に変更した。2種類を100部ずつ印刷し、豊島観光協会等に配布する。（配布は地域住民に協力をお願いしている。）



(完成したポストカード2種)

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

地域社会に与えた影響については、このプロジェクトによって、訪れる外国人観光客にアート以外の豊島の魅力について発信できるようになり、さらなる豊島のPR、香川県のPRに貢献し観光客増加をもたらすきっかけとなったと考えられる。また、ピザ作り体験の際には豊島のフルーツを使ったフルーツピザのレシピを提供するなど、地域資

源の新しい使い方について提案したこと、ツアーでの留学生との交流のなかで地域住民は留学生から見た豊島の良さを聞く機会があったことから、豊島住民も豊島の良さを再発見できる機会になったと考えられる。

外国人観光客に与えた影響については、このプロジェクトによって作品の魅力だけでなく、アート以外の豊島の魅力について伝えることができ、より満足してもらうことができたと考えられる。

大学に与えた影響については、このプロジェクトが地域活性化のために活動しているということを通して積極的に宣伝したことで、香川大学が地域に根ざした大学であるということ強くアピールすることができたと考えられる。

Facebook「DISCOVER TESHIMA×JAPAN」

<https://www.facebook.com/Discover-Teshima-Japan-230330687385614/?ref=bookmarks>

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

学生に与えた影響については、このプロジェクトでは学生が主体となり地域住民との現地調査やツアーの制作、実施を行っていくなかで、学生は企画力や日本語や英語でのコミュニケーション能力、行動力、チャレンジ精神など今後必要とされる能力を身につけることができたと考えられる。また現地調査を通して地域で起こっている問題について直接触れ、問題解決に向け地域住民と活動していくなかで地域活性化について実践的に学ぶことができたと考えられる。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

このプロジェクトを通して、何度も豊島を訪れるなかで学生自身豊島についてより知ることができ、豊島のことをとても好きになった。特に豊島の人々がとても親切でインタビュー調査をさせていただいているにも関わらず、手作りの美味しいシフォンケーキを用意してくださったりした。また、顔を覚えてくださった方から話しかけていただけた。反省点としてはツアー完成まで予想以上に時間がかかったためポストカード制作を急がなければならなくなった。次回実施の際はツアー制作の計画を綿密に立て、余裕をもってポストカード制作に取り組んでいきたい。

7. 実施メンバー

代表者	橋本奈都子（経済学部3年）	廣瀬 渉（経済学部4年）
構成員	堀家利沙（教育学部4年）	岡田さおり（経済学部3年）
	宮脇拓弥（経済学部3年）	橋本夏帆（経済学部2年）
	津雲夏美（経済学部3年）	石戸千香子（教育学部2年）
	熊淵巧大（経済学部2年）	
	Chen Bao Ji（経済学部1年生 台湾）	

Chih-hao Chang (教育学部 1 年生 台湾)

Maharani Vidyaningrum (農学部大学院 1 年生 インドネシア)

Ta Mai Trang (農学部大学院 1 年生 ベトナム)

Quetsch Kevin (経済学部 1 年 ドイツ)

Methaneethorn Prae (農学部大学院 1 年生 タイ)

He YuXuan (農学部大学院 1 年生 中国)